

住民発！

八枝校区 小地域福祉活動第一次計画

八枝校区の元気プラン



ふれあいネットワーク

八枝校区社会福祉協議会

ごあいさつ

八枝校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。ふれあいネットワーク活動には平成10年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢化時代となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性の高まりが必要とされています。

その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2011-2020」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「住民ふくしの元気プラン2011～2015」（北九州市地域福祉活動第四次計画）が策定されたところです。

八枝校区においても様々な課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う関係団体が地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、住民主導により地域福祉活動を進めるため、私たちの八枝が将来に亘り笑顔の絶えないまちになることを夢にえがきながら、この小地域福祉活動計画『八枝校区の元気プラン』を策定しました。

この計画の策定にあたり策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に感謝を申し上げ、また、今後の計画推進へのご協力をお願いし、ご挨拶といたします。

八枝校区社会福祉協議会
会長 岡本勝廣



もくじ

ごあいさつ	… 1 p
第1章 計画策定にあたって	… 2 p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 八枝校区の現状と課題	… 3 p
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	… 4 p
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	… 7 p
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第2期計画の策定	
参考資料	… 8 p
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、八枝校区の様々な福祉課題を解決するために、住民が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、八枝校区に住む人たちが安心して暮らせる支えあいを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 八枝校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。計画の推進にあたっては、八枝校区社協のみならず、関係団体による既存の活動等とも連携し、福祉課題の解決に努めます。

2 計画の期間

平成 25 年度～平成 29 年度までの 5 ヶ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、随時見直しを行います。

3 計画の策定経過

八枝校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、八枝校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成 24 年 8 月 17 日に立ち上げた同委員会において、13 名の委員により 8 回に及ぶ協議の上、第 1 次八枝校区小地域福祉活動計画を策定しました。(参考資料を参照)



第2章 八枝校区の現状と課題

1 地域社会の動向

八枝校区データ

平成 24 年 9 月現在

人 口	9,736 人	小 学 校	八枝小学校
世 帯 数	3,656 世帯	中 学 校	永犬丸中学校
高 齢 化 率	19.7%	公 民 館 ・ 市 民 セ ン タ ー	八枝市民センター
独 居 高 齢 者 世 帯	253 世帯	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	八幡西 2
八枝校区社協の 構成地域	泉ヶ浦一～三丁目、大字永犬丸、永犬丸一～四丁目、鷹見台一～二丁目、北筑一～二丁目、八枝一～五丁目、鷹見台 4 丁目・則松 7 丁目の一部		
そ の 他 社 会 資 源 等	八幡南郵便局、永犬丸保育所、八幡みなみ幼稚園、永犬丸児童館、正和中央病院、東筑病院、八幡厚生病院、北九州銀行、永犬丸中央公園、永犬丸の森公園 他		

八枝校区は、金山川の両側に広がる住宅地や開発の進む商業地で構成される恵まれた生活環境の地域です。先行開発された住宅地に加え、新たに開発中の住宅地など、高齢化率の高い地域と低い地域が混在しています。

また校区内での生活の基本になる学校・医療機関等の社会資源は比較的充実していますが、バスの便が少ないなど若干の交通の不便さが見受けられます。

最近、校区内を縦断する幹線道路沿いに商業施設が開発され、住民の買い物スタイルが大きく変貌してきているところです。一方で、先行開発された地域での高齢化が進んできており、安心して生活できる生活の基盤支援などの福祉課題が顕在化してきています。

2 地域の福祉課題

八枝校区では平成 10 年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、住民のプライバシー意識の変化や、一部地域の高齢化も進行しており、福祉活動者の確保が困難になり、活動者の早急な発掘・育成が求められる状況になっています。

また、高齢化に伴い、住民同士の関係や助け合いが希薄になったり、一部の地域では近隣住民との絆の希薄化のなか生活のしづらさを抱えた高齢者の問題、地域に気軽に集まれる居場所がない等の課題も見えてきました。

これらの問題を解決するためには、関係機関・団体の協力のもと、地域の社会資源を有効活用し、地域住民のふれあいの場を設け、同時に地域住民に社協活動に関心を持ってもらい、人材・財政面での基盤強化を進めることが必要です。これまで実施してきた地域活動を連携させ、オープンスペースなどを必要に応じ新たに設置しながら、地域の福祉活動を推進します。



第3章 計画体系

1 基本理念「見守り、ふれあい、支えあい」

八枝校区では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して健やかに生活できるまちにしたいと願っています。そこで「見守り、ふれあい、支えあい」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉の心を育てよう

福祉活動の広報啓発を通じて、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 心と体を健康に、仲の良い隣人を増やそう

地域交流の場の設置や既存の活動と連携して、住民間のつながりを強めていきます。

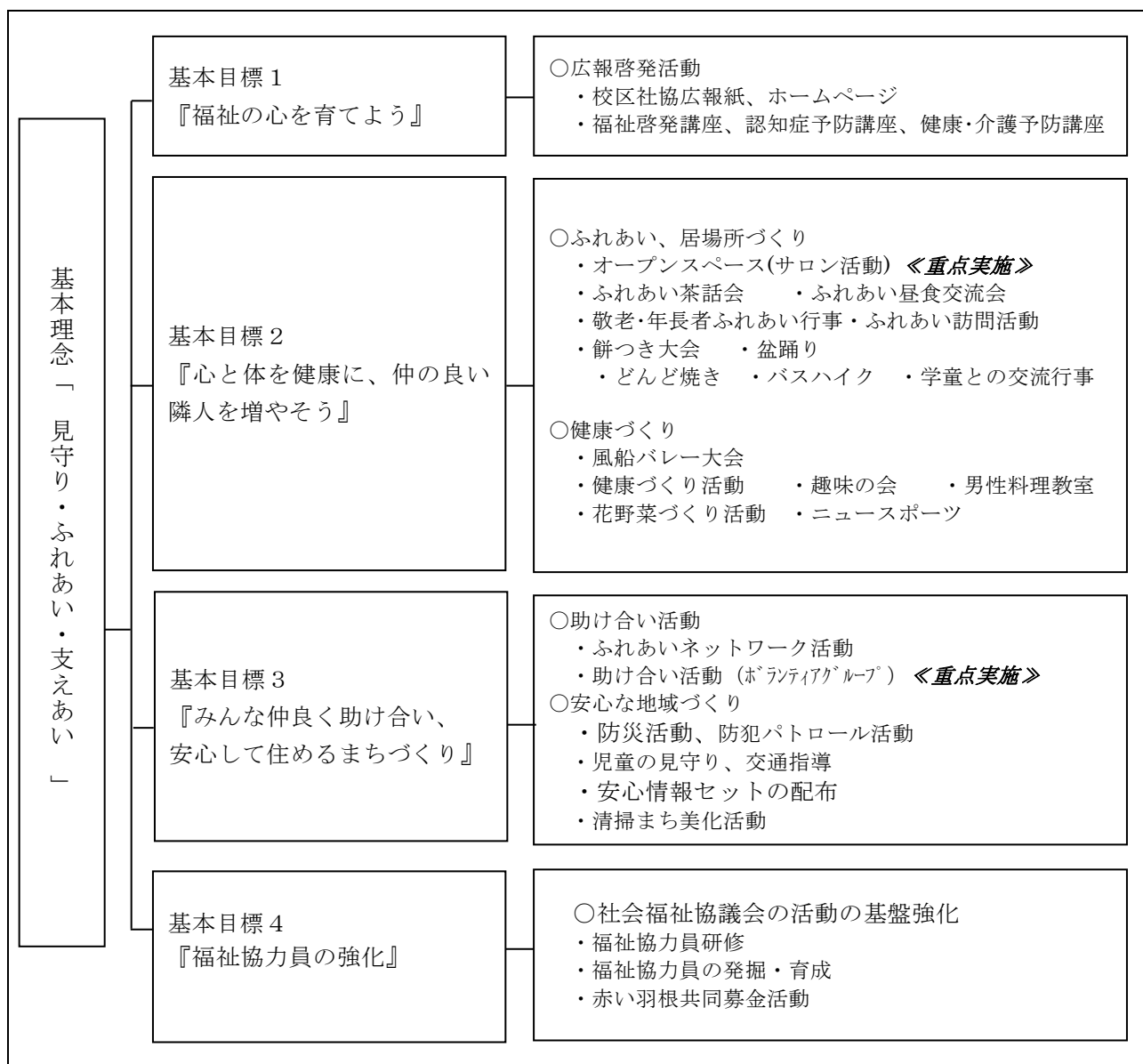
(3) みんな仲良く助け合い、安心して住めるまちづくり

安心・安全の助け合いの仕組みづくりを行い、住民同士の助け合いの輪を広げます。

(4) 福祉協力員の強化

福祉協力員の発掘や育成、活動財源の安定的な確保に向けた活動を通じ、地域の活動力を強化します。

3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目		オープンスペース(サロン活動)の推進					
1 課題背景及び現状							
<p>近年の急速な高齢化により、独居高齢者・高齢者のみの世帯が増加するなかで、近隣住民同士の絆も希薄化し、閉じこもりがちな高齢者への働きかけが必要になっている。活発に行われている健康づくりの取り組みに比べ、高齢者が気軽に集まれる場所が少ないことから、仲間・生きがい・気軽に集える居場所づくりの取り組みが必要になっている。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>永犬丸・泉ヶ浦・鷹見台地区それぞれに、高齢者のみならずさまざまな住民が気軽に集まれるフリースペースを設置していく。</p> <p>また、実施にあたっては地域で行われているふれあい茶話会や昼食会の活動を発展・充実させる。既存の他団体の活動と調整・連携し、効率的に普及を図る。</p> <p>5年後の目標として、3地区ごとに気軽に集まれるフリースペースを開設し、毎週定例的に実施できる体制をつくる。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H25	H26	H27	H28	H29	備考
先進地の見学・調査	他校区社協	→					
関係団体との連携・調整	まち協 自治区会 老人クラブ	→					
活動場所の確保・調整	公民館 集会所 (自治区会)	→					
広報活動・周知	自治区会 民児協	→					
オープンスペースの実施 月1回			→				
オープンスペースの充実 月2回				→			
オープンスペースの充実 週1回					→		
オープンスペースの充実 週3回						→	
活動の点検・評価	推進委員会					→	



重点実施項目		助け合い活動の充実・発展					
1 課題背景及び現状							
住民同士の絆や相互扶助の意識の希薄化が進行しており、高齢化率が高い一部の地域では、独居高齢者が電球の交換などの生活上の困りごとを抱えていても、周囲に相談し助け合い解決する仕組みが不十分である。また、地域全体で助け合い活動を行う為の人材も不足しており、既存のボランティアグループと連携し、身近な地域で活動できる人材の発掘と活動の枠組み作りが必要である。							
2 活動の方針・目標							
既に活動しているボランティアグループの活動を参考に、長年培ってきた見守りネットワークを活用し、日常生活上の困りごとなどのニーズを掘り起し、助け合える仕組みづくりを行う。 また、社協の福祉協力員や民生委員など既存の活動者だけでは担えないため、地域に相当数いる定年退職した男性などの潜在的な活動者候補の発掘・確保を、関係団体と協力し地域ぐるみで進めていく。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H25	H26	H27	H28	H29	備考
助け合い活動の地区勉強会	自治区会 老人クラブ 助け合い活動グループ	→					
見守り訪問によるニーズの掘り起し	福祉協力員 民児協	→	→	→			
助け合い活動の先行実施	福祉協力員 助け合い活動グループ		→	→			
活動内容の整理				→			
ボランティアグループの設置準備（募集(発掘)、研修）				→			
広報活動・周知				→			
ボランティアグループ設置助け合い活動実施					→		
活動の点検・評価						→	



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布を通じ校区住民へ周知し、広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

八枝校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施等について、委員会で協議します。

(2) 計画の進行管理

八枝校区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催）。委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2期計画の策定

第1期計画の推進状況を踏まえて、第2期計画の策定期（計画第4～5カ年度）には新しく第2期計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

八枝校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	岡本 勝廣	八枝校区社会福祉協議会	会長	委員長
2	亀田 純一	まちづくり協議会	会長	委員
3	小田 周造	永犬丸自治区会	区会長	〃
4	高村 昌康	泉ヶ浦自治区会	区会長	〃
5	西尾 勝	鷹見台自治区会	副区会長	〃
6	小田 與	八枝校区社会福祉協議会	事務局長	〃
7	澤田 和雄	八枝校区社会福祉協議会	会計	〃
8	清水 直子	泉ヶ浦地区	福祉協力員	〃
9	河内 道治	鷹見台地区	福祉協力員	〃
10	滝島 晋	永犬丸地区	福祉協力員	〃
11	和田 幸裕	永犬丸児童館	館長	〃
12	村田 清香	八枝校区社会福祉協議会	広報部長	〃
13	宮崎 恵美子	民生委員児童委員協議会	会長	〃



参考資料【八枝校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 八枝校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	岡本 勝廣	八枝校区社会福祉協議会	会長	委員長
2	亀田 純一	まちづくり協議会	会長	委員
3	小田 周造	永犬丸自治区会	区会長	〃
4	高村 昌康	泉ヶ浦自治区会	区会長	〃
5	西尾 勝	鷹見台自治区会	副区会長	〃
6	小田 與	八枝校区社会福祉協議会	事務局長	〃
7	澤田 和雄	八枝校区社会福祉協議会	会計	〃
8	清水 直子	泉ヶ浦地区	福祉協力員	〃
9	河内 道治	鷹見台地区	福祉協力員	〃
10	滝島 晋	永犬丸地区	福祉協力員	〃
11	和田 幸裕	永犬丸児童館	館長	〃
12	村田 清香	八枝校区社会福祉協議会	広報部長	〃
13	宮崎 恵美子	民生委員児童委員協議会	会長	〃

2 八枝校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	平成 24 年 8 月 17 日	1 計画策定の趣旨について 2 策定委員会委員の選任について
2	平成 24 年 9 月 20 日	1 計画の基本理念について 2 地域の福祉課題の抽出について
3	平成 24 年 10 月 18 日	1 計画体系（基本目標・実施項目）について
4	平成 24 年 11 月 15 日	1 計画の重点実施項目について 2 基本目標の作成と修正について 3 計画全体の体系図の作成について 4 計画書の書式・記載内容等について
5	平成 24 年 12 月 20 日	1 重点実施項目について
6	平成 25 年 1 月 17 日	1 重点実施項目の決定・実施計画の作成 2 八枝校区の元気プランの書式・記載内容等について①
7	平成 25 年 2 月 21 日	1 八枝校区の元気プランの書式・記載内容等について② 2 計画の推進について 3 推進委員会委員の選任について
8	平成 25 年 3 月 27 日	1 八枝校区の元気プラン概要版の書式・記載内容等について 2 計画の広報について



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

八枝校区社会福祉協議会

